

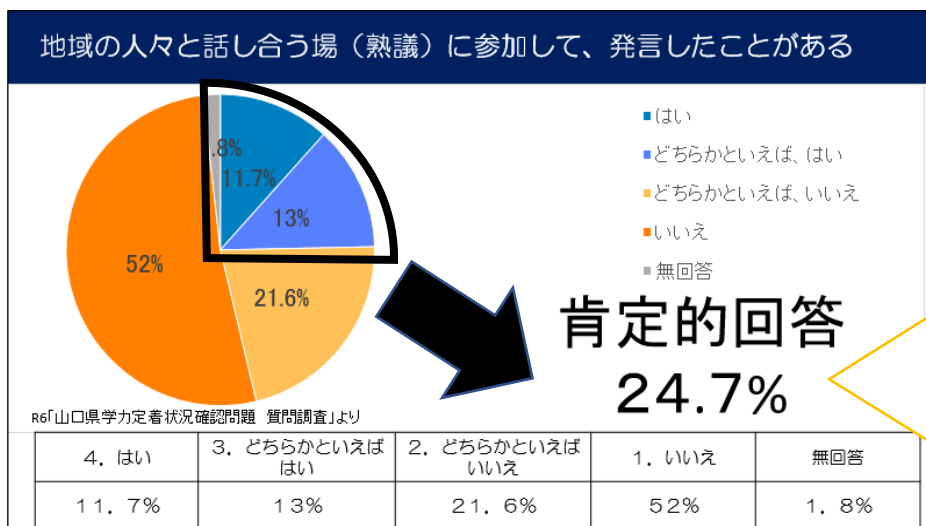
わくわく地域連携教育だより

下関市教育委員会
第12号
令和7年3月17日

下関市の地域連携教育の未来に向けて

この1年間、本たよりを通して、下関市の地域連携教育の情報を発信してまいりました。なぜ今、地域連携教育が必要なのか、また、キーワードを「参加とともに参画」とし、子供たちが地域の一員として当事者意識をもって生きていくことが、将来、地域社会の担い手（創り手）となる上でいかに重要かを様々な活動事例とともにお伝えしました。

今年度、地域連携教育を推進する中で、魅力ある学校づくり・地域づくりのために多くの関係者にご尽力いただいていることが良く分かりました。この場をお借りして改めて感謝申し上げます。ただ、課題も見えてきています。その1つが以下のスライドです。

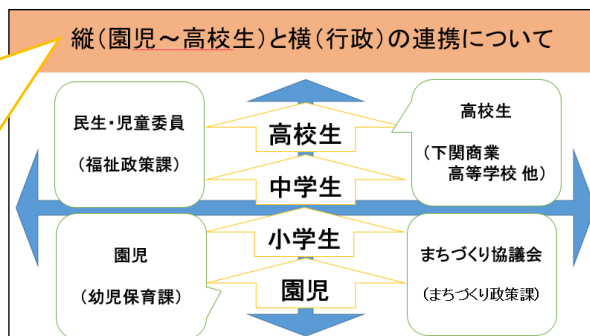


今年度、小学5・6年生、中学1・2年生対象に実施された学力定着状況確認問題質問調査の結果です。

注目したのは、「地域の人々と話し合う場（熟議）に参加して発言したことがある」子供の割合です。

「発言したことがある」と答えた子供は、24.7%にとどまりました。話し合う場（熟議）に参加するのは、一部の子供であることが多いため、このような結果になっていると考えられます。まだまだ子供を巻き込む工夫や「参加とともに参画」する余地はあります。

縦（園児～高校生）と横（行政）の連携も課題の1つです。現在、多くの学校・地域で様々な活動がされています。今後更に、幼児保育課、福祉政策課、まちづくり政策課と互いの会議や協議に出席し合い、地域連携教育への理解促進と情報共有を図ります。



今年度も地域・学校の関係者の皆様には、下関市の地域連携教育の推進に多大なご尽力をいただき、本当にありがとうございました。来年度も引き続きよろしく願いいたします。

「わくわく地域連携教育だより」は、生涯学習課HPにもアップしています。
ご意見・ご感想がある方は、以下のメールへお送りください。
shinnai.toshimasa@city.shimonoseki.yamaguchi.jp

